記載例

死　亡　届

受理	令和　年　月　日 第　号	発送	令和　年　月　日
送付	令和　年　月　日 第　号		長印

書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

届出年月日を記入します→ 令和 6 年 1 月 2 日届出

三重県三重郡菰野町 長　殿

（1）～（11）
死亡した人について
記入してください

(1)	（よみかた）	こも　の　　いち　ろう
(2)	氏名	氏 菰野　名 一郎　☑男　□女
(3)	生年月日	昭和２ 年 ３ 月 4日（生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください）□午前 □午後 時 分
(4)	死亡したとき	令和 6 年 1 月 1 日 ☑午前 □午後 0 時 30 分
(5)	死亡したところ	三重県三重郡菰野町大字福村1 番地 番 号
(6)	住所（住民登録をしているところ）	三重県三重郡菰野町大字潤田１２５０ 番地 番 号 （よみかた） こもの　まさお 世帯主の氏名 菰野　正男
(7)	本籍（外国人のときは国籍だけを書いてください）	三重県三重郡菰野町大字潤田１２５０ 番地 番 筆頭者の氏名 菰野　一郎
(8)(9)	死亡した人の夫または妻	☑いる （満９２歳） いない（□未婚 □死別 □離別）
(10)	死亡したときの世帯のおもな仕事と	□1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 □2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 □3. 企業・個人商店等（官公庁は除く）の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） □4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯（日々または1年未満の契約の雇用者は5） □5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 ☑6. 仕事をしている者のいない世帯
(11)	死亡した人の職業・産業	（国勢調査の年…令和　年…の４月１日から翌年３月31日までに死亡したときだけ書いてください） 職業 00　産業 00
	その他	
	届出人	□1. 同居の親族 □2. 同居していない親族 □3. 同居者 □4. 家主 □5. 地主 □6. 家屋管理人 □7. 土地管理人 □8. 公設所の長 □9. 後見人 □10. 保佐人 □11. 補助人 □12. 任意後見人 □13. 任意後見受任者 住所 三重県三重郡菰野町大字潤田１２５０ 番地 番 号 本籍 三重県三重郡菰野町大字潤田１２５０ 番地 番　筆頭者の氏名 菰野　正男 署名（※押印は任意） 菰野　正男　印 昭和３０ 年 2 月 1 日生
	事件簿番号	

職業は国勢調査の年のみ記入

署名は必ず本人が自署し、押印は任意です

消えるペンで記入しないで下さい

連絡先	電話 059（391）1120 自宅・勤務先［　］・携帯

昼間連絡がとれる電話番号を記入

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

死亡したことを知った日からかぞえて７日以内に出してください。

届書は、１通でさしつかえありません。

転記してください

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査（統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管）、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録（厚生労働省所管）にも用いられます。

◎届出人の印をご持参ください。

死亡診断書（死体検案書）

この死亡診断書（死体検案書）は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

氏名		1男 2女	生年月日 明治 昭和 大正 平成 令和 年 月 日（生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください。）午前・午後 時 分
死亡したとき	令和 6 年 1 月 1 日 午前・午後 0 時 30 分		
(12)(13) 死亡したところ	死亡したところの種別	1病院 2診療所 3介護医療院・介護老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他	
	死亡したところ	三重県三重郡菰野町大字福村１ 番地 番 号	
	(死亡したところの種別4～5) 施設の名称	（　）	

診断書には何も記入しないでください

医師が記入します

(14) 死亡の原因	Ⅰ	(ア) 直接死因	発病（発症）又は受傷から死亡までの期間
	Ⅰ	(イ) (ア)の原因	
	Ⅰ	(ウ) (イ)の原因	
	Ⅰ	(エ) (ウ)の原因	
	Ⅱ	直接には死因に関係しないがⅠ欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等	
	手術	1無 2有 部位及び主要所見	手術年月日 令和 平成 昭和 年 月 日
	解剖	1無 2有 主要所見	

◆Ⅰ欄、Ⅱ欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください

◆Ⅰ欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で書いてください

◆Ⅰ欄の傷病名の記載は各欄一つにしてください

ただし、欄が不足する場合は(エ)欄に残りを医学的因果関係の順番で書いてください

◆年、月、日等の単位で書いてください ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください（例：1年3ヶ月、5時間20分）

(15) 死因の種類	1 病死及び自然死 外因死　不慮の外因死 {2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 6 窒息 7 中毒 8 その他} その他及び不詳の外因死 {9 自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因} 12不詳の死
(16) 外因死の追加事項 ◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	傷害が発生したとき：令和・平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分 傷害が発生したところの種別：1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他（　） 傷害が発生したところ：都道府県 市区郡町村 手段及び状況
(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重 グラム 単胎・多胎の別 1 単胎 2 多胎（　子中第　子） 妊娠週数 満 週 妊娠・分娩時における母体の病態又は異状 1無 2有［　］3不詳 母の生年月日 昭和 平成 令和 年 月 日 前回までの妊娠の結果 出生児 人 死産児 胎（妊娠満22週以後に限る）
(18)	その他特に付言すべきことがら
(19)	上記のとおり診断（検案）する 病院、診療所、介護医療院若しくは介護老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所 診断（検案）年月日 令和 年 月 日 本診断書（検案書）発行年月日 令和 年 月 日 番地 番 号 （氏名） 医師 印

記入の注意

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜の12時は「午前０時」、昼の12時は「午後０時」と書いてください。

「5 老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3 介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の名称に続けて、介護医療院、介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。

傷病名等は、日本語で書いてください。
Ⅰ欄では、各傷病について発病の型（例：急性）、病因（例：病原体名）、部位（例：胃噴門部がん）、性状（例：病理組織型）等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。

産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後満何日」と書いてください。

Ⅰ欄及びⅡ欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2 交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。
「5 煙、火災及び火焔による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1 住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどういう状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。
母子健康手帳等を参考に書いてください。

※一度、受理すると届書をお返しすることができませんので、必要があれば、届出前に写しをとってください。